鶴林

★ 理事長の問わず語り ★

「年の瀬近し」

今年もコロナ・コロナであっという間に年の瀬が近づいてきた。

手帳を少し整理しておこうと思い開いたのだが、十月の陰暦が神無月であるのが目に留まった。

これは全国の神様が出雲に集まるので、各地ではそれぞれの神様がいなくなってしまう。それで神無月という。

全国の神様が出雲大社の西方の稲佐の浜に集まってこられるという事で、出雲ではこの月を神在月という。

子供の頃、父親からこの事を聞かされてはいたが、一体集まって何をするのかという事がずっと疑問のままだったし、そんなに気にもかけていなかった。

全国から集合をかけられた神様は、八百万の神（やおよろずのかみ）で、そこで、神議り（かみはかり）という会議が開催されるという事だ。

会議という事だから、５Ｗ２ＨやＰＤＣＡに則って、私流に言わせてもらうと、前もって現状のリサーチも含めて話し合いをしているのだろうとか、全国から八百万の神様が集まるのだから、男神様ばかりではなく今流行りの男女同権に先がけて、女神様も多数おられるのかなとか、年齢も若年層からベテランを超えて長老格者も多数なのかなとか、考えてみるだけでも夢の世界が駆け巡ってくる。

出雲大社のある島根県には、宍道湖沿いに一畑鉄道の一両電車が走っている。和歌山の南部を走っている紀州鉄道と同じかなと、以前、地元からの依頼で話をしたときに会場のあるホテルのレストランの窓越しに見えたオモチャのような電車が楽しそうに走っていたのを思い出す。

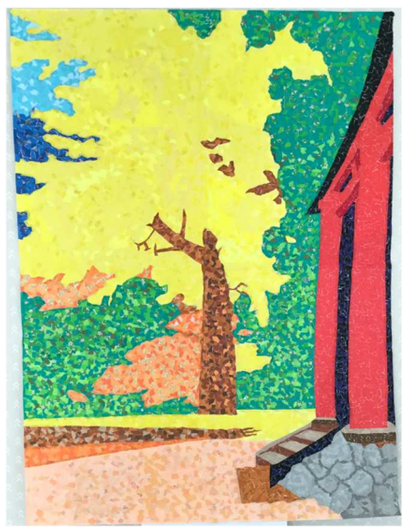
神在月となった出雲はそれで良いのだろうが、一方、神無月となった地方では、どんな過ごし方をしているのだろうか。神様不在中は、普段と違って、人々の生活に変化があったり、空気まで変わったり、いにしえには、それらしきお祭りなどがあったのではないのかなと、それと同時に外国でも同じような神無月はあるのだろうか、特にメキシコのユカタン半島やペルーのインカではあったに違いないと思いたい。

最近では、世界各地で考古学や歴史学やらが盛んになっているようだが、あまり過去を知りすぎてしまっては、その分だけ夢が少なくなってしまうのではないかと心配しているのは、私一人ではあるまい。

子供の頃、父や母から本をあてがわれ、読んだ後には感想文を書かされた。ほとんどの本については、さらさらとはいかないがある程度は書けたような気がしたのだが、何冊かはこれは僕が書いても良いのかなと不思議な気持ちになる本があった。それは、内容の捉え方が未熟な子どもには解らなくて当然かもしれないが、右にも左にも考えさせられて、作者の本音がつかめないものであったからだ。

この時期の読書が今としては、本好きの基になったのだろうし、回りくどい、皆を悩ませている考え方もこのこの読後感の深い考え方によるものに違いない。

だけど、その頃に培われたものの考え方は自分では結構気に入っているし、今の仕事にも十分に役立っているので、今更ながら父や母に感謝したい気持ちでいっぱいだ。



秋のちぎり絵
制作：養護ご利用者

園庭の柿

11月

第523号
令和4年11月1日

社会福祉法人 鶴林園
〒675-0303 兵庫県加古川市
志方町細工所1086番地
TEL 079-452-0524
FAX 079-452-2461
http://www.kakurinen.com
Eメール info@kakurinen.or.jp

１０月のアルバム

コスモスツアー(特養)

広尾のコスモス畑へドライブツアーを行いました。段々畑のコスモスに「きれいなぁ」と皆さん感動しておられました。秋風の冷たさを感じるなど、久々の外出に気分も清々しくなりました。

コスモス畑散策(養護)

コスモス畑まで散歩に行って来ました。

大変良い天気でピンク色と青空が一面に広がり、ご利用者から、「わぁ～きれい！」という声が上がりました。

日常活動(特定養護)

フロアで個人でできる活動を頑張っています。計算問題に取り組まれる方やパズルに夢中になっている方もおられます。

今月は職員と一緒にハロウィンに向けて工作をしました。職員が切った箇所にご利用者がのりで貼り付けをしてくださいました。

紅葉のリース(デイ・センター)

紅葉のリース作りを行いました。紅葉の形に切った紙を各々で貼っていきます。

「思うように貼ろうと思ってもむずかしいな～」と悩んでいる方も多くありましたが、出来上がりには笑顔で写真撮影に応じてくださいました。

秋の収穫(デイ・センター)

宝農園に男性陣ばかりで夏前に植えた紫芋の収穫に行きました。

紫芋は残念ながらほとんど取れませんでしたが良い運動になったとのお声。

ベランダ菜園(特養)

特養のベランダで栽培をしていたピーマンとししとうの収穫を行いました。

「あれも、これもいけるわ」と手慣れた手つきで収穫してくださいました。

「私の鶴林園」

ホームヘルプサービスセンター
センター長補佐
工藤　睦美

私が鶴林園にお世話になり、ホームヘルパーになった平成6年当時は事業所職員が3人で、ご利用者には「家庭奉仕員さん」と呼ばれる方もおられ、私にとってホームヘルパーは未知の仕事でした。

そんな頃、理事長から「ホームヘルパーはこれからご利用者がどんどん増えて、職員も10人～20人体制になるから頑張りなさいよ」と声を掛けて頂いた事を覚えています。正直その時は、夢のような話で信じられない思いでした。

ホームヘルパーには資格が必要です。たくさんの研修会、勉強会に参加させて頂きました。ご利用者からは個別訪問の楽しさや難しさを日々教えられ、体験する中で自分自身も成長できたと思います。

介護保険制度が施行されてからは少しずつホームヘルパーの仕事が社会的にも受け入れられ、ご利用者の数が何倍にも増え、夢は現実になりました。どんな時も一丸となって事業所と私自身を支えてくれる職員の皆さんに「日々感謝」の気持ちで一杯です。

今後もご利用者が元気に在宅生活を送れるように、他事業所との連携も大切にして「鶴林園のヘルパーさんに来てもらえて良かった」と支持される事業所になれるように努めて参ります。

永年勤続職員に今までの思いを聞きました！

勝川　舞子
養護　副主任生活相談員

2007年に入社し、早15年が過ぎました。右も左もわからない私が、ここまで勤められたのも、理事長初め、先輩や同僚の方々からのご指導や励ましがあったからだと思っています。もちろんご利用者の方々にも教えて頂いた事は多くあります。

難しい場面で上手く対処できず、悔しい思いをしたこともたくさんあります。

そんな時、仲間やご利用者に助けられ、上手くとは言いませんが壁を乗り越えてきたのだと思います。

誰かを支援するという事は決して1人では出来ないと、仕事を通して思うようになりました。皆でどうすればいいのだろうかと、悩み、考える、それこそが大事なのだと感じています。今後も、皆で創意工夫しながらより良い方向に進めるようにしていきたいと思います。

室井　龍二
訪問入浴サービスセンター
副主任介護職員

私は約20年前に鶴林園に就職しました。私自身福祉とは無縁の経歴で、正直、勤まるのか不安でいっぱいでした。介護のノウハウもない状態でしたが、諸先輩から教わり、鶴林園という土壌が成長へと導いてくれました。

途中、挫けてしまいそうな時もありましたが、理事長が声をかけてくださり、思いとどまることができました。

現在、私は訪問入浴サービスで仕事をしています。今でも壁にぶつかったり、思い通りに行かなかったりしますが、この仕事を永く続けることができるのは、この仕事が大好きであるから、サービスを利用された方々や関係する方々から感謝の言葉を頂いた時この仕事を続けてよかったと思えるからです。これからもこの大好きな仕事が続けられるように日々挑戦・日々前進していきます。

坂口　拓行
養護　副主任支援員

鶴林園に入社し、15年という月日が経ちました。

入社から現在に至るまで、養護老人ホームの支援員としてご利用者の自立した生活の支援をさせて頂いています。

なかなか上手くいかない時もありますが、ご利用者と共に自立に向けた一歩を踏み出す時や、達成できた時のご利用者の笑顔を見る度にやりがいを感じ、また、私自身の原動力になっていると思います。

コロナ禍という事で、以前の様に季節感のある行事を行う事はまだまだ難しい事だとは思いますが、「鶴林園に来て良かった」「楽しみが増えた」と思って頂ける様に、今後もご利用者の幸せに貢献し、寄り添って支援していく事が私の20年目に向けての目標です。

田原　藍
特定養護　計画作成担当者

この仕事を始めて早いもので15年が経ちました。

その間生活相談員から金銭管理の仕事、施設ケアマネと職種は変わったものの養護老人ホーム一筋でやってきました。

就職して数か月だけは支援員の業務をしましたが、あっという間に名ばかりの生活相談員となり、新卒で就職した訳ではありませんでしたが、まだ若い20代の何の経験もない私が担当したのは養護老人ホームの7階でした。

7階のご利用者はとても元気で、若い私に気を遣ってくれたり、時には文句を言ってきたり、喧嘩の仲裁をしないといけなかったり、一緒にティータイムをしたり、当時は色々と気を揉みましたが今思い返せば、私が養護を好きになった原点です。

園 是

一．思いやりしましょう

同じ目線の共感・感謝で
心のふれあい・まごころ交流

一．あいさつしましょう

笑顔で　目と目の
活発コミュニケーション

一．心のよりどころを持ちましょう

強い信念・使命感で
日々挑戦・日々前進

社会福祉法人　鶴林園

編集後記

錦秋の候、皆様いかがお過ごしでしょうか？朝晩肌寒くなり始めましたが、秋晴れの爽やかな日が続いています。

お祭りや様々な行事が再開され、少しずつコロナの呪縛から解放され始めたように感じます。それに伴いあちこちで人々が密の状態になることも増え、不安に思うこともあります。高齢者、特に高齢者施設にとっては、心配な状況に変わりはありません。

体力を落とさないためにも戸外に出て、色づき始めた木々を見ながら散歩など心掛けたいものです。

（典）

デイ・センター

月	火	水	木	金	土
★ ふれあい活動週間					
	1 描いてみよう 身近な色々	2 描いてみよう 身近な色々	3 描いてみよう 身近な色々	4 描いてみよう 身近な色々	5 描いてみよう 身近な色々
★ おたのしみ週間					
7 散歩×クイズ クイズラリー	8 散歩×クイズ クイズラリー	9 散歩×クイズ クイズラリー	10 直感！ 二択クイズ	11 直感！ 二択クイズ	12 直感！ 二択クイズ
★ 趣味・創作活動週間					
14 クリスマス オーナメント 作り	15 クリスマス オーナメント 作り	16 クリスマス オーナメント 作り	17 クリスマス オーナメント 作り	18 クリスマス オーナメント 作り	19 誕生会
★ 健康管理・リハビリ週間					
21 尿失禁予防 体操	22 尿失禁予防 体操	23 尿失禁予防 体操	24 健康の話 「インフルエンザ」	25 健康の話 「インフルエンザ」	26 健康の話 「インフルエンザ」
★ ふれあい活動週間					
28 転倒予防体操	29 転倒予防体操	30 転倒予防体操			

出張！

介護・福祉なんでも相談

11月22日(火) 13時30分 ～16時	11月25日(金) 10時 ～12時
加古川西 公民館	志方公民館

介護や福祉、医療に関する
お困り事や心配事があれば、
お気軽にご相談ください。
※相談は無料です。

◆お問合せ
地域包括支援センター
かこがわ西
079-452-2097

特養

9日(水)　祝膳の日
10日(木)　テイクアウトツアー
12日(土)　喫茶(2階)
16日(水)　誕生パーティー
19日(土)　喫茶(3階)
23日(水)　特別なお食事会

毎週月曜日・火曜日・
木曜日・金曜日　足浴
毎週水曜日　手浴
毎週土曜日・日曜日
レクリエーション
毎週日曜日　出張理美容

11月のお楽しみ

養護

5日(土)　高砂南高校PTA花壇植替
7日(月)　ふれあいタイム
9日(水)　祝膳の日　11月誕生会
衣類販売
23日(水)　ときめき講座
25日(金)　お楽しみティータイム
28日(月)　外食ツアー　映画鑑賞会
地域清掃

3、4、7～10日　個人作品・
クラブ活動作品展示
毎週火曜日・金曜日　ティータイム
第2～5水曜日　書道クラブ
毎週金曜日　移動スーパー
第1～3金曜日　生き生き体操
毎週日曜日　出張理美容

特定養護

9日(水)　祝膳の日　11月誕生会
11日(金)　運動会(4階)
14日(月)　映画鑑賞会(2階)
18日(金)　運動会(3階)
21日(月)　運動会(2階)
25日(金)　映画鑑賞会(4階)
28日(月)　映画鑑賞会(3階)

毎週火曜日・金曜日
おやつティータイム
第1・第3火曜日　移動スーパー
第2・第4木曜日　書道クラブ
毎週日曜日　出張理美容